

刑 法

平成23年10月30日（日） 10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして、2枚の解答用紙（裏面使用も可）に収めて下さい。
解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】 (配点：100点)

XとYは、知人のAが宝くじで500万円あてたという噂を聞いた。ちょうど金に困っていた両者は、Aから500万円を窃取し、山分けする計画を立てた。XとYは、その計画に従って、無施錠の窓からA宅に侵入し、洋服ダンスや靴箱、果てはトイレのタンクの中まで探して回った。その家探しの最中、突然Aが自宅に帰ってきた。Xらは、何も盗むことができないまま、あわてて逃走しようとしたが、Yだけが逃げ遅れて、A宅のクローゼット内に隠れることとなった。

Aが帰宅してから30分ほど後、Aは何者かが自宅に侵入し、家探しをしたこと及びクローゼット内に何者かが潜んでいることに気が付いた。そこでAは平静を装い、友人にメールをし、警察を呼ぶよう依頼した。何度か友人とメールのやり取りをし、警察官B、CがA宅に到着したのは、Aが帰宅してから約1時間10分後のことであった。

クローゼットの隙間から警察官の到着を知ったYは、このままでは捕まると思い、自らクローゼットから飛び出し、A及び警察官Bに殴りかかり、彼らがひるんだ隙に玄関口から逃走した。その際、Yの暴行により、Aは全治1カ月の傷害を、Bは全治2カ月の傷害を負った。

X、Yの罪責について論じなさい。ただし、特別法について言及する必要はないものとする。

以上